

発行元：(一社)相模原市高齢者福祉施設協議会 事務局

TEL：042-707-1136 FAX：042-707-1217

E-mail：sagamihara-koureikyo@peace.ocn.ne.jp

HP：<http://sagamihara-koureikyo.org/>

●相模原市高齢協の活動指針

本会は、高齢者福祉施設が使命とする高齢者の支援等を基本に、地域福祉の推進とサービスの質的向上を図るため、会員施設及び事業所相互の連携と共通課題について研究協議を行い、相模原市内に所在する施設及び事業所の健全な発展と高齢者福祉の推進に寄与することを目的としています。

●「さがみはら介護の未来懇話会」開催

2月6日、相模原市主催により、本庁舎において、市長、副市長、高齢者福祉関連部署の幹部、相模原市高齢協役員12名を交えて、本市の「介護の未来」—今後の展望について意見交換を行う懇話会が開かれました。

この会合は、介護分野における取り組みの先進事例や成功事例を参考に、質の高いサービスにつなげることを目的としたものです。当日は人材育成や外国人活用、ものづくり人材育成についての成功事例などの発表もあり、出席者同士で意見が交わされました。

内容は以下の通りです。

懇話会テーマ：介護分野で活躍する「人づくり」

- 「相模原市の『介護』を取り巻く現状と今後」報告
- 事例発表
 - ・ 人材育成事例：
相模原市高齢協 監事 萩原 秀男 氏
 - ・ 外国人活用事例：
相模原市高齢協 担当理事 大塚 小百合 氏
 - ・ ものづくり人材育成事例：
さがみはら産業創造センター取締役 安藤 重夫 氏
- 懇話・まとめ

介護現場の声や他業種からの参考意見も取り入れながら、市の施策や事業をブラッシュアップさせるべく、手を携えてゆくための足掛かりを築く大きなきっかけとなりました。

市幹部と懇話する機会は今回が初めてですが、出席者からは、将来に向けたテーマで議論を深めることの大切さについて意見が上がったことから、定期的開催していくことが確認されました。市からは、今後も、同会での議論を通じて介護人材の確保・育成に向けて取り組みを進める意向が示されました。



● 2018年度 第2回定期総会 開催

3月14日、2018年度 第2回定期総会が開かれました。

主な議事の内容は以下の通りです。

- 2019年度事業計画（案）について
 - 2019年度収支予算（案）について
 - 2019年度組織構成（案）について
 - 「定款」変更について
- その他の議事は以下の通りです。
- 「介護助手導入促進事業」報告
 - 「3.11災害情報伝達訓練」について
 - 「若葉まつり」「介護の日大会」他イベントについて

閉会后、部会会合に引き続いて

「介護技能実習生受入セミナー」が持たれました。



定期総会



介護技能実習生受入セミナー

● 相模原市高齢協 2019年度計画

介護保険制度が施行されて以来6回の報酬改定が行われてきましたが、その改定率を足し算引き算してみると-2.23%になり、介護保険施行当初から報酬額が2%以上も下がっていることとなります。これでは職員の給与を上げるところか物価上昇にもスライドできず、高齢者福祉事業は年々厳しい状況になっていることが分かります。

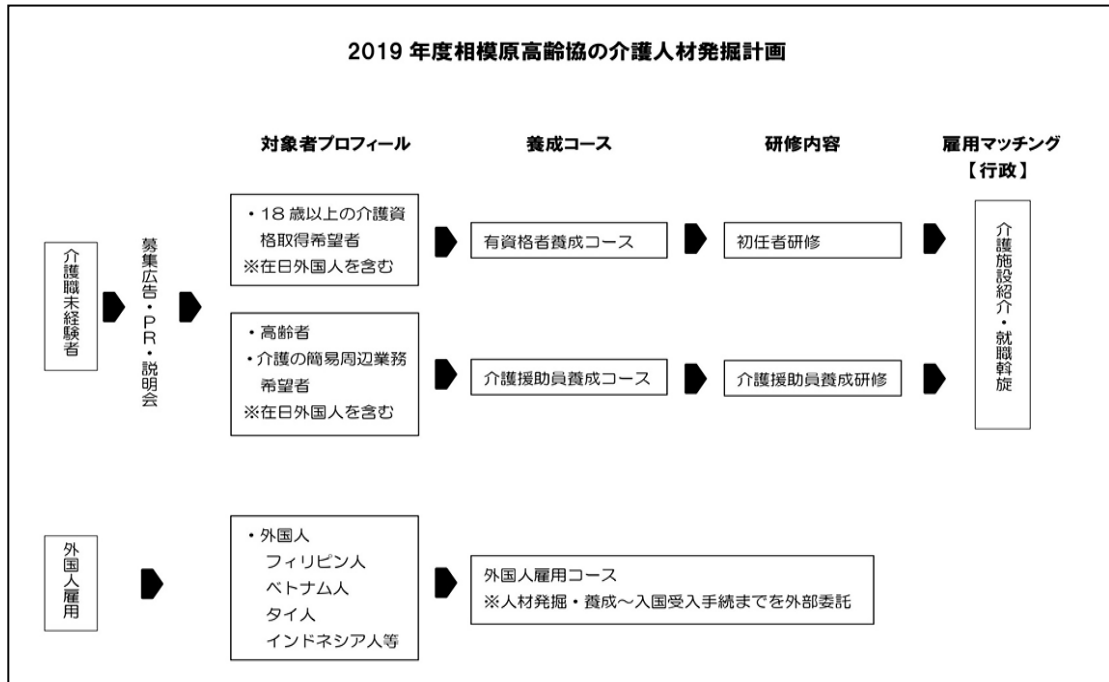
2019年度は、秋に消費税が導入されることにより、多少の報酬増が見込まれていますが、基本的には消費増税分への報酬増だけとなりますので、厳しい状況は継続するものと思われます。また、国は社会福祉法人の合併吸収による大規模化で規模のメリットを活かそうと考えているようですが、しかしそれだけでは人材問題も財政問題も抜本的には解決しません。私たちはその波に飲み込まれぬよう国に方針転換を強く求めると同時に施設経営においては施設運営の合理化と効率化を図っていかねばなりません。

いずれにしろ高齢者人口の急増に対応するためにサービス利用対象者の絞り込みや対象からの取り外しがさらに厳しくなっていくものと思われます。これから高齢者施設経営にはかなりのレベルでのパラダイムシフトが求められることになりそうです。

（計画の具体的な項目は以下の通りです）

1. 介護福祉人材の確保と養成
2. 経営者部会の発足
3. 施設運営の財務的課題の検討
4. 社会福祉法人の地域貢献活動
5. 社会福祉法人のイメージ改善に向けたPR活動
6. 地域の防災拠点としての位置づけ
7. 介護業務効率化
8. 老施協関東ブロックへの加入
9. その他
 - 定期総会の開催 ● 合同施設長会の開催 ● 理事会の開催
 - 神奈川県社会福祉協議会、老人福祉施設協議会との連携
 - 各地区の職員親睦会の開催 ● 各地区の施設長・管理者懇親会の開催
 - 相模原市へ要望書の提出 ● 賛助会員との交流 等

新年度計画においての最優先項目とした「介護福祉人材の確保と養成」については、以下の図式で示すような考え方で、主として、介護職未経験者を対象とし人材発掘に焦点を当てて進めて参ります。年々逼迫しつつある介護人材の雇用状況を鑑みて、今後、さらに体制を充実してゆく所存です。



詳細はホームページ「<http://www.sagamihara-koureikyo.org/document/>」をご覧ください。

●相模原市在宅医療・介護連携事例等発表会 開催

3月2日、相模原市在宅医療・介護連携事例等発表会が、相模原市立産業会館にて開催されました。

今回は「高齢者救急」に関して、病院、介護施設、消防というそれぞれ異なった立場から具体的な事例を基に事例の発表があり、その後、引き続いて、活発な意見交換がなされました。高齢協からは、特養部会長・特養モモの大原施設長による発表もあり、好評を得ました。プログラムの詳細は以下の通りです。

◆コーディネーター

佐藤医院 院長

社会福祉法人久寿会 理事長

佐藤 聡一郎 氏

萩原 秀男 氏

(1) 高齢者救急に関する現況と課題 病院の立場より

相模原市病院協会 理事

総合相模更生病院 院長

松本 豊 氏

(2) 特別養護老人ホームにおける高齢者救急

相模原市高齢者福祉施設協議会 特養部会長

特別養護老人ホームモモ 施設長 大原 伸介 氏

(3) 救急隊における高齢者救急

相模原市消防局救急課 担当課長

石井 茂 氏



● 2018年度 介護助手導入促進事業 終了のご報告

2018年度、神奈川県より受託した「介護助手導入促進事業」が終了しました。介護職の負担軽減と専門性の向上を図るとともに「介護助手」の位置づけを必要不可欠な職種として確立させ、より多くの施設で活用していくための活用促進を行うという事業。対象は以下の協力事業所でした。

「コスモスホーム」「柴胡苑」「はあとぴあ」「中の郷」「みたけ」「千代田デイサービスセンター」「清菊園」「大野北誠心園」「はなさか」「相陽台ホーム」

昨年5月、一般市民向けの求人説明会を開き、計4回の研修会開催を経て、5か月間のモニタリングと計30回の訪問ヒアリングを実施、計3回の意見交換会を開催しております。実際の効果も様々な形で確認でき、今後の課題も浮かび上がってきました。ご協力いただいた事業所、アドバイザー、会員の皆様に心より感謝申し上げます。

● 各種イベント・活動

◆ 2019年2月

6日	さがみはら介護の未来懇話会	13日	生活相談員合同会議
13日	理事会	27日	事務局会議

◆ 2019年3月

6日	居宅部会	13日	理事会・総会
13日	デイサービス部会	26日	政策課意見交換会

● 賛助会員

愛知金物建材 株式会社
株式会社 ウェブトラスト
株式会社 タマパーク
Office CPSR（臨床心理士・
社会保険労務士事務所）
望月史郎公認会計士事務所
シープラス 株式会社
株式会社 中島建設
住宅型有料老人ホーム 勢水
住宅型有料老人ホーム あんず
株式会社 永田屋
日本ゼネラルフード 株式会社
株式会社 IDO
株式会社 太陽住建
株式会社 リンク・アップ
株式会社 シマソービ
敬称略／加入順

株式会社 コンティ
守屋綜合法律事務所
千寿産業 株式会社
株式会社 三ノ輪建設
株式会社 ケイ・アース
株式会社 みらい
株式会社 ディフェンス
アライブかながわ
住宅型有料老人ホーム 田名新宿住宅
日興テクノス 株式会社
株式会社 きらぼし銀行 相模原法人営業部
株式会社 ナリコマエンタープライズ
相模原商事 株式会社
ケアミックス 株式会社
福永隆太(株式会社タウンニュース社)

● 編集後記

広報紙第15号をお届けします。今後もより一層、内容を充実させてゆく所存です。施設や職員の紹介、イベント案内など、どんなものでも結構です。ご意見、情報など、どんなお寄せください。ご協力をお願いいたします。

連絡先は、相模原市高齢協 事務局（広報誌担当）まで

〒252-0236 相模原市中央区富士見6-1-20（あじさい会館内）

TEL：042-707-1136 FAX：042-707-1217 E-mail：Sagamihara-koureiikyoku@peace.ocn.ne.jp